藝文協だより

第206号

平成22年2月

㈳富山県芸術文化協会

〒930-0096 富山市舟橋北町7-1
県教育文化会館内
☎(076)441－8635(内線123)

―― 第43回理事会 ――

平成22年度事業計画決まる

社団法人富山県芸術文化協会の第四十三回理事会は、十二月十五日㈫、富山県民会館三〇四号室において泉洋県生活環境文化部長、朝倉隆文文化振興課長を来賓に迎え、理事、参事、監事、事務局幹事など約百名が出席し開催されました。

役員の異動案、平成二十二年度事業計画案と予算案の骨子に続いて平成二十一年度事業経過報告と収支予算補正案が審議され、いずれも承認されました。

平成二十二年度の事業として、次の案件が審議、承認されました。

平成二十二年度は、第十六回富山県いけばな公募展（六月〜二月）、第五十九回富山県芸術祭（七月下旬）、第三十五回富山県青少年美術展（九月中旬）、第三十三回富山県こどもフェスティバル（十一月初旬）、芸術文化指導者招へい事業、芸術鑑賞（平成二十三年三月予定）をそれぞれ例年通り実施し、また、県立文化ホールや新利賀山房で行われる「とやま舞台芸術祭」は、八月、九月に開催されます。

国際交流事業では、六月に第十一回リンゲン世界こども演劇祭への派遣を、八月には、こどもバレエ遼寧省派遣事業（日中友好交流事業）を予定しています。

また、芸文協と友好提携しているハンガリー、中国、韓国の各文化団体と合同で開催する第九回国際友好美術交流展（七月中旬）が、今年はハンガリー・デブレツェン市で行われます。

この他、韓国・江原道へ派遣する日韓友好交流事業や、ハンガリー・バラトン美術キャンプ（五月）、ハンガリー・ハイドゥ＝ビハール県コーシュ・カロイ美術学校交流派遣事業（八月）、ハンガリー・ホルトバージ美術キャンプ派遣事業（平成二十三年二月）に美術家を派遣する予定です。

受託事業としては、県民芸術文化祭２０１０総合フェスティバル、県民ふれあい公演、中央通アートプロムナード及びほくぎんアートギャラリーも例年通り開催されます。

また、共催事業として、第六十五回富山県美術展（六月）、美の祭典　越中アートフェスタ２０１０（十一月）が開催されます。

富山県伝統芸術フェスティバル２００９
～大茶会・華道・邦楽～

文化庁「地域文化芸術振興プラン」「富山県伝統芸術フェスティバル２００９ ～大茶会・邦楽～」は十一月十五日(日)から二十九日(日)の期間の土日祝日の六日間を利用し富山駅北口の欒翠亭で開催されました。

大茶会は、富山県茶道連盟八流派・六支部（十二席）による茶会で、和室と立礼席が設けられ、参加者らは、晩秋のしっとりとした雰囲気の中でお茶を堪能しました。

また、富山県邦楽協会の皆さんによる箏の演奏があり、会場は優雅な音色に包まれていました。

期間中、「とやま国際アートキャンプ２００９」「第八回国際友好美術交流展」「第三十二回富山県こどもフェスティバル」などに参加のため来県していた中国の美術家やハンガリーの美術家、俳優らも訪れ、日本の伝統芸術に触れ親しみました。

二十一日(土)、二十二日(日)の二日間、富山県民共生センター・サンフォルテにおいて小中学生の子どもと保護者を対象に茶道・華道「親子体験教室」が行われました。

体験に参加した親子らは、茶道では、おじぎの仕方や茶碗の持ち方などの基本的な作法やお茶のたて方などを学び、華道では、かすみ草や百合を使って親子で協力し合いながら生け花に取り組んでいました。

茶道「親子体験教室」

「親子体験教室」の子どもたちは、慣れない手つきながらも、体験を通して茶道・華道の楽しさを感じている様子でした。

華道「親子体験教室」

十五日(日)
【茶席】裏千家富山支部(和室)、薮内流高岡支部(立礼)
【箏】黒川社中(黒川雅皓、黒川真理、バデューチ雅紫)

二十一日(土)
【茶席】遠州流(和室)、表千家(立礼)
【箏】松原社中(松原雅尉、中村雅楽奈美)

二十二日(日)
【茶席】薮内流富山支部(和室)、武者小路千家(立礼)
【箏】川倉社中(川倉美津瑠、川倉美波瑠、河内美千都)

二十三日(祝)
【茶席】林義牧派遠州流(和室)、遠州会富山支部(立礼)
【箏】瀬尾社中(瀬尾雅加寿、茂雅篁)

二十八日(土)
【茶席】裏千家魚津支部(和室)、薮内流魚津支部(立礼)
【箏】富士原社中(富士原文以千乃、平井文以千耐、水橋文以千厚)

二十九日(日)
【茶席】裏千家高岡支部(和室)、皇風煎茶禮式(立礼)
【箏】河崎社中(村松雅楽文、村松雅奈)

（敬称略）

第32回富山県こどもフェスティバル

展示部門開会式でのテープカット

第三十二回富山県こどもフェスティバル（外務省「日本・ドナウ交流年２００９」認定事業）が十一月二十一日㈯～二十三日（月・祝）まで富山県民会館で開催されました。展示部門では児童画三二八点、書七一九点、童画四点、創作童話部門は八五点の応募があり、こどもたちの夢がつまった作品が会場を彩りました。

また、海外からの特別展示として、今回はハンガリー、中国、韓国、ロシア、バーレーン、ブラジルのこどもたちの絵画一七七点が展示されました。海外のこどもたちの作品は、九月に行われた「県民芸術文化祭２００９」の会場でも展示されました。

海外からの特別展示

二十二日㈰の演示部門では、午前、午後にわたり県内十五団体のこどもたちによる器楽、洋舞、日舞、剣詩舞の公演が富山県民会館ホールで行われ、元気あふれるステージで日頃の成果を披露しました。

また、今年は日本・ハンガリー国交樹立一四〇周年・国交回復五〇周年の記念の年であり、特別公演として、ハンガリーの劇団プレイヤーズ・スタジオ・デブレツェンが「みにくいあひる」を日本語で上演（午前・午後の二回）しました。一九七九年に設立された同劇団は、代表の芸術監督兼演出のピンツェーシュ・イシュトヴァーン氏、またチョコナイ劇場演出兼俳優のヤンボール・ヨーゼフ氏など、プロが大半を占めるハンガリーの有名な劇団です。一九八一年にニューヨーク・ウェストチェスター国際演劇祭で富山の文芸座と同じ演目を競演したことが機縁となり、その後、富山県とハンガリー・ハイドゥ＝ビハール県の多岐に亘る文化交流が今日まで続いています。

ハンガリー・プレイヤーズ・スタジオ・デブレツェンによる日本語の「みにくいあひる」

今回の演目「みにくいあひる」は、アンデルセンの「みにくいアヒルの子」を元に作られた、新作のお話。ハンガリーの実力派俳優たちが富山弁を交えた日本語の舞台を繰り広げ、観客をびっくりさせ楽しませました。

同劇団は、十八日㈬～二十一日㈯に行われた平成二十一年度県民ふれあい公演にも出演、また、芸術文化指導者招へい事業の演劇部門ワークショップ（十七日㈫～二十日㈮）では、ピンツェーシュ・イシュトヴァーン氏が講師を務めた。

終演後には、出演者の中から十九名に奨励賞が贈呈されました（「およろこびの人々」を参照ください）。

演示部門（黒川邦楽院）

美の祭典　越中アートフェスタ２００９

審査員による作品解説

シンポジウム「公募展の未来」

平成二十一年度の「美の祭典 越中アートフェスタ２００９」は、十一月二十七日㈮から十二月一日㈫まで、富山県民会館の美術館と地下展示室、ギャラリーＡＢＣの各展示場を会場として開催されました。

従来の細かなジャンルの垣根を取り払った平面と立体の二部門制が定着し、今年で四年目を迎えた同展に多様な技法やモチーフで表現した七〇一点が寄せられました。特に立体部門は、昨年を七点上回る過去最多の九四点の応募がありました。厳正な審査の結果五五五点が入選し、平面の部では「ＫＩＮＧＹＯ」（尾﨑真理氏）が、立体の部では「不思議な塔」（泉秀明氏）が大賞を受賞し、県知事賞と北日本新聞社長賞などが贈られました。

また、表彰式後には、「公募展の未来」と題したシンポジウムが行われ、常に挑戦し続ける姿勢の大切さや、プロ・アマを問わず幅広い県民が挑戦することができるアートフェスタの今後のあり方について話し合われ、参加者は、興味深そうに聞き入っていました。受賞者にとっては、今後の作品制作への励みとなるシンポジウムでした。

期間中、入賞・入選作品の展示や審査員等による作品の解説・講評に加え、学生によるアートのフリーマーケットや子どもを対象とした絵画ワークショップが行われ、九、九四五人の入場者を数えました。

会期終了後、主な受賞作品は、高岡市、魚津市、砺波市、朝日町各地の巡回展で平成二十二年一月中旬まで展示されました。

子どものための絵画ワークショップ（指導者：大谷弓子県児童美術研究会会長）

チェコ国立劇場への演出・振付者派遣事業　プラハ・スタヴォフスケー劇場にて
「ダンスファンタジー　マッチ売りの少女」（可西晴香 演出・振付）プレミア公演

モーツァルトが「ドン・ジョバンニ」を自ら指揮し初演した、伝統と格式あるチェコ国立スタヴォフスケー（エステート）劇場。昨年十二月十一日㈮、その名門劇場で富山で作られ、現地チェコの出演者による舞台が誕生しました。

上演されたのは、アンデルセンの童話を基にした「ダンスファンタジー マッチ売りの少女」。現地初演に向け、制作統括の小泉博プロデューサーをはじめ演出・振付の可西晴香氏、振付助手の片岸香里さん、プラハ留学中の川幡磨美さん（いずれも可西舞踊研究所）が協力しました。

この事業は、二〇〇八年「第一回とやま世界こども舞台芸術祭」で同公演（出演＝可西舞踊研究所、劇団文芸座）を鑑賞したチェコの舞踊学校プラハ・ダンス・コンセルヴァトワールの関係者より、作品提供と指導者の派遣の依頼が芸文協にあり、実現しました。

同作品は「マッチ売りの少女」をベースに、複数のアンデルセン童話を織り込んだ舞踊劇です（台本・宮島春彦、作曲・八幡茂、美術・久郷秀男、衣裳・並河万里子　二〇〇六年「とやま舞台芸術祭」で初演）。薄幸の少女がマッチを擦る度に、炎の中に「みにくいアヒルの子」「赤い靴」「錫の兵隊」が次々と展開していきます。

チェコ公演の出演はボヘミア・バレエ（プラハ・ダンス・コンセルヴァトワールの生徒と卒業生によるアンサンブル）。映像や制作図により現地で舞台・衣裳等の準備が事前に進められ、十一月三十日㈪より招待された可西、片岸両氏が現地入りしました。コンセルヴァトワールのヤロスラヴ・スラヴィツキー校長、十二月八日㈫にプラハ入りした小泉博プロデューサーと共に振付・照明など細かい修正を加え、十二月十一日㈮、いよいよ初日を迎えました。

国立劇場の新作プレミアとあって、満員の観客が詰めかけた公演は、文化の街プラハの目が肥えた観客の心を掴み、大成功を収めました。公演後には劇場「モーツァルトの間」でレセプションが開かれ、在チェコ日本大使館の原田親仁特命全権大使も出席されました。

公演は初演を含め今年五月までに同劇場で計十回予定されており、チケット完売が続出しているそうです。

日本人が同劇場で演出・振付するのは初めてという快挙で、チェコの国立劇場にとっても、また富山とプラハとの文化交流にとっても歴史的な一ページが新たに刻まれました。

マッチを擦る度に幻想的なシーンが展開

左手前からスラヴィツキー校長、可西晴香氏

８回にも及んだカーテンコール

平成二十一年度 県民ふれあい公演

十月から一月にかけて、「平成二十一年度県民ふれあい公演」を開催しました。

なごみの会（小矢部市立東部小学校）

十月十六日㈮の公演は、小矢部市立東部小学校の創立五十周年記念式典に合わせて行われ、第一部は邦楽のなごみの会（主宰・前田雅韻氏）による箏曲の調べ、第二部では、ピアノ伴奏に乗せて奏でられる谷道実子氏の豊かで柔らかいサクソフォンの音色が会場に響きわたりました。

十一月十八日㈬、富山市立呉羽小学校の公演には、ハンガリーのプレイヤーズ・スタジオ・デブレツェンと、邦楽の井上雅喜代氏（箏）他が出演。第一部はアンデルセンの童話をベースにした演劇「みにくいあひる」を上演。明瞭な日本語と斬新なストーリー展開で子供たちを物語の世界に惹きこんでいました。第二部では箏独奏「さくら」、「梢」「大きな古時計・紅葉・赤とんぼ」などを演奏し、観客は雅な調べに聴き入っていました。

十一月十九日㈭、魚津市立片貝小学校では、前述のプレイヤーズ・スタジオ・デブレツェン「みにくいあひる」に続き、県日本舞踊協会の西川扇重京氏による「清元玉兎」、藤間祐松氏による「常盤津 三ツ面子守」を上演。和洋の演者によるバラエティに豊かな演技を間近で見た子ども達は、時に笑い、時に真剣に見入るなど、舞台の楽しさをそれぞれに感じているようでした。

十一月二十日㈮、富山県立ふるさと養護学校の公演は「みにくいあひる」と洋楽の演奏による構成。洋楽は「のでにカンタービレ」（フルート＝摺出寺敬子、ヴァイオリン＝納原久顕、ピアノ＝西田雅美）が「愛の挨拶」、「ブレジレイラ」などを演奏し、和やかな公演になりました。

十一月二十一日㈯、富山市立三郷小学校では、「みにくいあひる」と、洋楽の「ふるまり」（フルート＝谷内奈実子、マリンバ＝永森聖子）による演奏「歌の翼による幻想曲」、「タンゴの歴史 第一・三楽章」などの演奏を行いました。テンポの良いお芝居と、リズミカルな音楽に会場は熱気に包まれました。

ハンガリー・プレイヤーズ・スタジオ・デブレツェン（魚津市立片貝小学校）

十一月二十一日㈯の公演は、富山県立富山工業高等学校吹奏楽部が出演し、魚津市立天神公民館附属体育館で行いました。第一部は、ポップスなどの曲で若さみなぎる演奏を披露。途中、楽器の紹介をはさみ、第二部では、音楽を奏でながら次々と隊形を変えていく形式のステージドリルを披露し、観客と一体となったパフォーマンスで会場を沸かせました。

十一月二十八日㈯上市老人保健施設「つるぎの庭」で行われた公演には、邦楽の道木雅宝氏（箏）他、むつみ児童合唱団が出演。第一部では、「未来花」や「赤とんぼ」などを演奏し情緒豊かな箏の音を会場に響かせました。引き続き第二部は、児童合唱団の子どもたちが、力強くきらきらとした歌声で「みかんの花咲く丘」や「夕やけこやけ」などアンコールを含む全一〇曲を歌い上げ、お年寄りたちを楽しませました。

子どもたちの剣詩舞体験（富山市立速星小学校）

十二月十一日㈮富山市立速星小学校で行われた公演には、詩吟剣舞の渋川流剣詩舞道菊帆会（代表・長瀬天帆氏）他、合唱の富山あざみ女声合唱団（代表・牧野洋子氏、指揮・佐藤光子氏他）が出演。第一部の詩吟と剣詩舞のステージでは、詩舞「宝船」や歌謡「白雲の城」などを披露。演目の間には、生徒らがステージ上で刀の振り方や扇の開き方などを体験する場面もありました。第二部の合唱では、「となりのトトロ」や「サンタが街にやってくる」など馴染みのある曲を披露し、子どもたちは楽しそうに聞き入っていました。

一月十五日㈮の公演は氷見市立海峰小学校で行われ、第一部の詩吟剣舞のステージでは、渋川流天水会（代表・伊藤天水氏）他によって「九月十三夜」や「黒田節」などの剣詩舞のほか、独吟「九段の桜」などを披露。演目の間に、子どもたちは剣詩舞を体験し伝統芸術に親しみました。第二部の合唱は、女声合唱団「こすもす」（指揮・長谷部律子氏）が、アカペラによる「アルファベットの歌」「ぶんぶんぶん」やソプラノ独唱、日本古謡「通りゃんせ」などを披露。透き通った美しい歌声に生徒たちは惹きつけられていました。生徒たちも参加し、一緒に歌うプログラムもあり、観客、出演者共に楽しい時間を過ごしました。

女声合唱団「こすもす」（氷見市立海峰小学校）

平成二十一年度 芸術文化指導者招へい事業
（演劇・邦楽・合唱・洋舞・オーケストラ）

十一月から一月にかけて「平成二十一年度芸術文化指導者招へい事業」を実施しました。

（演劇部門）イシュトヴァーン・ピンツェーシュ先生

演劇部門のワークショップ（総合プロデューサー＝小泉博）は、ハンガリーのイシュトヴァーン・ピンツェーシュ先生（ハンガリー国立ペシュティ・マジャール劇場 演出家）をお招きし、十一月十七日(火)より二十日(金)の間、「即興劇と劇的身体表現」と題したワークショップを計四回実施しました（日本・ハンガリー交流年事業）。受講者は演劇、ダンス、ブラスバンドなど様々な分野で活動する子供から大人までの多彩な顔ぶれとなりました。演じる上で大切な集中力や創造性を引き出すこと、また仲間を信頼し身体をリラックスさせることなどを目的とした指導は、ゲーム感覚で身体を動かす楽しい内容。参加者たちのいきいきとした表情が印象的でした。（実施場所＝富山市民芸術創造センター、氷見市立十三中学校、高岡第一高等学校、可西舞踊研究所富山スタジオ）

（邦楽部門）川村泰山先生

十一月二十一日(土)、二十二日(日)の二日間、富山市民芸術創造センターにおいて、講師に川村泰山先生をお招きし、一般、青少年、富山県邦楽協会会員を対象に邦楽部門のワークショップ（プロデューサー＝河崎雅都美）を行いました。川村先生には、邦楽の高度な演奏法や箏、十七弦、尺八の合奏法などをわかりやすく丁寧に指導していただきました。会場には、邦楽の雅やかな音色が響きわたっていました。

（合唱部門）デメーニ・シャロルタ先生

合唱部門のワークショップ（プロデューサー＝長谷部律子）は、ハンガリーからデメーニ・シャロルタ先生（デブレツェン・コダーイ合唱団 声楽家・学校教育指揮者）をお招きし、十二月二十三日(祝)から二十七日(日)にかけて、ア・カペラによる合唱のワークショップを計七回（井波小学校音楽室他六会場）実施しました（日本・ハンガリー交流年事業）。数多の優秀な合唱団を有し、またコダーイ・メソッドと呼ばれる音楽教育法で名高い「合唱王国」ハンガリー。デメーニ先生の指導は身体の使い方や音楽の背景の説明、発音に至るまで幅広く、的確なアドバイスで各団体の良さを引き出していました。最終日には、指導団体合同のワークショップを実施。百名を超える「大合唱団」が美しいハーモニーを奏でました。（受講団体＝井波小学校合唱部、吉江中学校吹奏楽部、芳野中学校合唱部、女声合唱団「こすもす」、女声合唱団「どるちぇ」、混声合唱団「樂音樹」※富山女声アカデミー合唱団からも一部参加）

（洋舞部門）ダヴィッド・ポスピシィール先生・ロベルタ・ポスピシィロヴァー先生

洋舞部門のワークショップ（プロデューサー＝可西晴香）は、チェコからダヴィッド・ポスピシィール先生（プラハ国立劇場アシスタントディレクター）、ロベルタ・ポスピシィロヴァー先生（プラハ・ダンス・コンセルヴァトワール舞踊教師・振付補）をお招きし、一月九日(土)から十二日(火)にかけ、クラシックバレエ基礎レッスンのワークショップを行いました。プラハ国立バレエ団のソリストとして長く活躍した経験を持ち、現在も各方面で活躍する両先生により、バレエダンサーとしての身体をつくる基礎訓練を正確に行うことに重点を置いた指導をして頂きました。短い日程ながら年代・レベル別の計十四回のクラスを精力的に行って頂き、多数の参加者も得て充実した内容となりました。

一月九日(土)、十日(日)に富山市民芸術創造センターにおいて、講師に気鋭の指揮者山田和樹先生をお招きし、オーケストラ部門（プロデューサー＝篠崎秀二）のワークショップを開催しました。同ワークショップは、県内の管弦楽団奏者（富山大学医科薬科管弦楽団、富山大学フィルハーモニー管弦楽団、富山シティフィルハーモニー管弦楽団）を対象に行われ、受講者は山田先生の躍動感あふれる指導のもと、オーケストラにおいての演奏法などを学び、ステップアップを図りました。

（オーケストラ部門）山田和樹先生

もよおしの記録と案内

２０１０年こどもが描いた干支の絵展覧会
1月15日(金)〜1月17日(日)
㈶大谷芸術交流館

第30回富山県写真連盟展
2月5日(金)〜2月7日(日)
富山県民会館ギャラリーC

第９回富山県室内合唱コンサート
2月11日(木)
富山市婦中ふれあい館

第40回富山県版造形教育展（秀作回顧展）
2月20日(土)〜2月21日(日)
アイザック小杉文化ホール ラポール

第17回春を生ける北日本いけばな展
2月25日(木)〜3月2日(火)
高岡大和 6階ホール

劇団文芸座創立60周年記念公演
その２ J・B・プリーストリー作
内村直也 翻案「夜の来訪者」
2月26日(金)
富山県教育文化会館ホール

第46回富山大学合唱団定期演奏会
2月27日(土)
富山市民プラザ
アンサンブルホール

春季邦楽演奏会
2月28日(日)
アイザック小杉文化ホール ラポール

黒川真理ジョイントコンサート
和と洋 弦楽の夕べ
3月11日(木)
北日本新聞ホール

渋川流剣詩舞道聖慧会創立25周年・佐野天慧斯道35年記念大会
3月14日(日)
富山県民会館 大ホール

バレエパフォーマンス イン新川
3月14日(日)
新川文化ホール
（ミラージュホール）大ホール

第24回富山県社会人吹奏楽フェスティバル
3月14日(日)
オーバード・ホール

「第39回」池坊北陸三県連合花展
3月19日(金)〜3月22日(休)
富山県民会館 地下展示室

第35回亜細亜美術富山展
3月19日(金)〜3月22日(休)
富山県民会館美術館Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄ室

第27回富山県青少年音楽コンクール
第27回富山県新人演奏会
コンクール予選＝3月20日(土)〜21日(祝)
コンクール本選＝3月22日(休)
新人演奏会＝3月21日(祝)

平成21年度
㈶日本民謡協会富山県連合大会
民謡民舞少年少女大会
3月21日(祝)
アイザック小杉文化ホール ラポール

富山県立富山いずみ高等学校
第44回富山いずみコンサート
（吹奏楽）
3月22日(休)
オーバード・ホール

澤武紀行のオペラ公演を支援する旅 ドイツ・フランス９日間
4月14日(水)〜4月22日(木)

第三回富山芙蓉吟詠会吟道大会
4月18日(日)
富山市民プラザ
アンサンブルホール

第４回高岡講談会 神田愛山とアマ弟子の会
4月18日(日)
富山県高岡文化ホール

いけばな嵯峨御流華道（富山司所）展
4月24日(土)〜4月25日(日)
富山県高岡文化ホール
多目的小ホール

第６回富山国際現代美術展（2010 ART/X/TOYAMA in 魚津）
5月1日(土)〜5月9日(日)
新川文化ホール展示場及び野外

第18回ミレー友好協会北陸展
（全国一般公募）
5月20日(木)〜5月23日(日)
富山県民会館美術館

ショパン生誕200年記念
ショパングレイテストヒッツ
クシシュトフ・ヤブウォンスキ
ピアノ・リサイタル
5月23日(日)
富山県民会館ホール

劇団Ｐ.Ｏ.Ｄ.第35回公演「我が名は虹」
6月12日(土)〜6月13日(日)
高岡市生涯学習センター・ホール

およろこびの人々

（平成21年9月以降受賞順・敬称略）

第57回二科会写真部展
会友努力賞 中尾 譲治

第32回富山県こどもフェスティバル
奨励賞
前野 愛莉　桶谷 希実
夏野 紗希　日下 萌
横田 蘭　山辺 真衣
船崎奈乃波　道渕 遥香
笠本彩由子　道厘 郁
島瀧 悠　稲生 朱里
菖池真里香　山谷 美紗
山岸 孝輔　大津賀那月
高柳 茉林　宮腰 悠花
奥野 彩子

●ご寄付●

酒井和佳子氏　十万円
可西 晴香氏　二十万円

酒井和佳子氏から地域文化功労者文部科学大臣表彰祝いとしてご寄付いただきました。

可西晴香氏からは、チェコ国立劇場への演出・振付者派遣事業において「ダンスファンタジー マッチ売りの少女」の振付料等を、芸文協の発展のためにお役立てくださいと、ご寄付いただきました。

ご厚情に深く感謝し、皆様にご報告いたします。